

ワケ カタチには理由がある(107)

Shape follows
Function & Taste

～カーチス SOC シーガル



(同時代の J2F 水上機と↓)



本機体は、カーチス社が製造した艦載水上機で、米国海軍の戦艦などに搭載されて使用された機体です。初飛行は1934年ですから、グラマン J2F とほぼ同時期に使用された機体です。複葉機で旧式に見えますが、上翼の前縁には略全領域にスラットを有しており、当時の最新メカを搭載していました。また、この機体の任務には、日本海軍の零式観測機と同じく、遠距離の敵を狙う戦艦主砲弾の着弾観測があり、低速度で飛ぶことも求められた機種だったと考えると、1930年代半ばにこの旧式の構造が選択されたのも納得がいきます。なお、空母で運用するように、フロートに代えて車輪を取り付けた機体も製造され、製造機数は300機を超えています。

【模型について】

ハセガワの1/72のインジェクションキットです。とにかく古いキットです(初出は陸上機型が1969年12月(100円)、水上機型が1970年2月(200円)。フロート付きが倍の値段だったのが面白い)。とてもプリミティブなキットですが、基本はしっかりしています。この作品では、エンジンをレジンパーツに換え、キャノピーを塩ビのクリアボックスのものに置き換えています。また、上の写真のように、ビーチングギヤはプラバンから自作し、プラペーパーでベルトを作って着脱自在にしています。



(中川裕幸 2024年4月)